

売れてる商品

東海漬物「こくうま熟うま辛キムチ」

食品需給研究センターの生産動向調査によると、14年の漬物生産量は前年比1・9%減の70万5千197tとなった。

漬物消費はバブル崩壊以降緩やかに下降し、生産



量は91年と比較して41%も減少している。

この市場の中で、キムチの販売動向は比較的安定している。東海漬物の

「こくうま熟うま辛キムチ」は業界屈指のNBに成長し、13年に累計3億

業界屈指 NB トップ堅持

パックを突破した。所沢、尾西、榛名、茨城、関西、豊橋マザーと全国に6工場を持ち、全国展開を可能としている。

昨今はキムチ商品が乱立し、過当競争、単価下落の荒波に巻き込まれているが、同社はシェア確保を最重要課題に掲げて営業活動に取り組み、ことで、売上げをキープしている。

ピクルスコーポレーションは、それまで市場になかった超甘口・200gの小容量タイプ「こくうま」がススムキムチシリーズがEVCMなどの販促強化策によりヒットし、セブン&アイグループ以外の売場が広がっ

漬物

RDSスーパー
単品ランキング

2月/金額ベース

順位	前回順位	商品名	メーカー	構成比	前年比
1	1	こくうま熟うま辛キムチ320g	東海漬物	2.8	104.1
2	2	ご飯がススムキムチ200g	ピクルスコーポレーション	2.8	123.9
3	3	CGC韓国キムチ400g	シジシージャパン	1.1	59.3
4	4	相馬胡瓜370g	菅野漬物食品	1.0	93.3
5	5	きゅうりのキューちゃん110g	東海漬物	0.9	95.1
6	9	イチオシキムチ200g	美山	0.9	102.4
7	7	CGCゆず白菜200g	シジシージャパン	0.8	91.6
8	6	CGC国産本漬たくあん1本	シジシージャパン	0.8	81.9
9	11	プチこくうまキムチ2食パック100g	東海漬物	0.8	108.2
10	8	スーパー極上キムチ330g	北日本フード	0.7	73.3

記事・表中の市場データは流通システム開発センターの業界POS「RDS」を用い、マーチャндаイジング・オンの分析ツール「Piano-POS」で集計・加工した

た。データでは東海の「こくうま」とピクルスの「ご飯がススム」が他を引き離している。キムチは美山「イチオシキムチ」、北日本フー「ドスーパー極上キムチ」も存在感がある。注目すべきは4位の菅野漬物食品「相馬胡瓜」で、原料事情の厳しい中でも安定供給に努めている。